

平成30年度 主要農作物の生育状況

秋まき小麦	<p>9月中旬の大雨により、は種期9/26(遅3日)、は種終10/5(遅3日)と平年より遅く、出芽期10/3(遅4日)も遅かった。越冬前の生育は劣っていた。起生期4/3(早3日)は早く、幼穂形成期4/30(早3日)や止葉期5/26(早4日)及び出穂期6/5(早4日)も早かった。しかし、6月中旬以降の低温、多雨、日照不足等の天候不順により開花受粉や登熟に影響がみられた。成熟期は7/25(遅2日)と遅く、収穫始7/28(遅3日)、収穫終8/5(遅2日)も遅かった。</p> <p>粗原収量はほぼ平年並であったが、細麦や赤かび病被害粒が多かったことから、整粒歩留りが低下した。</p>
ほれいしょ	<p>植付期4/26(早5日)、植付終5/5(早5日)は平年より早かった。萌芽期5/21(早4日)、着蕾期6/6(早4日)も早かったが、着蕾期後は低温のため生育は停滞し、莖長は平年より短かった。生育は小さいものの、開花期6/24(早3日)や莖葉黄変期8/7(早3日)は早かった。収穫期9/14(±0日)は平年並であったが、好天により収穫終9/26(早6日)は早かった。6~7月の低温、多雨、日照不足等の影響により、上いも数が少なく、1個重も小さく、総収量・規格内収量は平年をやや下回った。でんぷん価は高かった。</p>
豆類	<p>各豆類のは種期、出芽期はほぼ平年並であった。6月中旬~7月中旬の低温、多雨、日照不足により生育は遅れ、開花期は大豆7/20(遅2日)・金時7/19(遅6日)・手亡7/25(遅3日)・小豆7/28(遅4日)と遅かった。成熟期は大豆が9/24(±0日)で平年並であったが、その他の豆類は生育の回復が見られず、金時9/9(遅9日)・手亡9/19(遅5日)・小豆9/21(遅5日)と遅かった。成熟遅れに伴って収穫作業も遅れ、収穫終は大豆が10/27(遅5日)・小豆10/28(遅15日)・金時9/28(遅5日)・手亡10/6(遅3日)となった。収量は各豆類とも莢数が少なく平年をやや下回ったが、圃場差が大きかった。品質は良好であった。</p>
てん菜	<p>移植期4/29(早3日)は早かったが、移植終5/10(遅1日)はほぼ平年並みであった。活着は良好で、初期生育は順調であった。6月中旬~7月中旬まで低温、多雨、日照不足が続いたが、天候の影響はあまり見られず、草丈・葉数は平年並で、根周は平年よりやや大きかった。収穫作業はほぼ平年並に終了した。褐斑病、根腐病、ヨトウガ等病害虫の発生も少なかった。</p> <p>根部の肥大が順調に進んだことから収量は平年よりやや多く、根中糖分も平年を上回った。</p>
ながいも	<p>植え付け作業は、好天に恵まれ平年より3日早く始まり(5/10)、5日程度早く終了した(5/24)。萌芽(6/2)はおおむね早まったものの、ほ場によっては遅れたほ場もありほ場間差が大きくなった。萌芽期以降低温寡照となり初期生育及び莖葉伸長はやや鈍くなった。6月の降雨により一部のほ場でトレンチ溝の陥没が見られた。生育全般を通して莖葉の生育は鈍かったが、新しいもの伸長はおおむね順調に経過した。その後、大きな気象災害も免れ、新しいもの肥大は平年並みに経過したものの結果的には平年をやや下回る状態となった。収穫作業は平年並みに行われ、品質、収量ともに平年をやや下回った。</p>
牧草	<p>萌芽期は4/12(早3日)であり、気温の上昇とともに生育は順調に推移し、1番草の出穂期(チモシー)は6/9(早4日)となった。収穫作業は収穫始6/15(±0日)と平年並みに開始され、その後は順調に進み収穫期は6/22(早2日)だった。その後は長雨となり作業が進まず収穫終は7/17(遅14日)となった。10畝当たり1番草収量は3,019kg(6/7~15調査)となった。</p> <p>2番草は平年並の気象が続き良い生育であった。収穫は天候に恵まれ収穫期8/28(遅2日)収穫終9/3(早6日)となった。こうしたことから、10畝当たり収量は1,465kgであった。年間合計収量は4,484kgと平年対比97.5%となった。</p>
サイレージ用	<p>は種作業は順調に進み、は種期は5/13(遅1日)であった。気温は6月中旬以降の低温、日照不足、多雨により生育は遅れ雄穂抽出期7/31(遅3日)、絹糸抽出期8/2(遅3日)となった。その後はやや低めの気温と多雨傾向で糊熟期9/9(遅4日)黄熟期9/21(遅6日)であった。</p> <p>収穫作業は収穫始9/9(早4日)と順調に始まり収穫期は9/21(早6日)だったが、10月上旬の天候不順で作業が進まず収穫終は10/15(遅7日)であった。</p> <p>生総重は、10畝当たり5,583kg(平年対比93%)(9/5~18調査)、TDN収量1,010kg(平年対比94%)となった。乾物率は25.8%と平年より0.5%高かった。</p>

作況調査概要及び10a当たり収量

作物名		生育状況						10a当たり収量		
		調査基準日	項目(単位)	数量	項目(単位)	数量	項目(単位)	数量	本年(kg)	平年(kg)
秋まき小麦 (きたほなみ)		7/15	稈長 (cm)	79.9 (80.0)	穂数 (本/m ²)	744.3 (662.0)	穂長 (cm)	8.9 (9.0)	509	607
馬鈴しょ	食用 (メークイ)	8/15	茎長 (cm)	58.7 (72.4)	茎数 (本/株)	3.4 (3.7)	-	-	3,035	3,099
	加工用 (トコ)	8/15	茎長 (cm)	55.7 (65.5)	茎数 (本/株)	3.1 (3.3)	-	-		
大豆		10/1	茎長 (cm)	77.2 (73.0)	葉数 (枚)	10.4 (9.5)	着莢数 (個/m ²)	505.2 (543.6)	291	283
小豆		9/15	茎長 (cm)	40.7 (68.3)	葉数 (枚)	10.2 (12.1)	着莢数 (個/m ²)	284.7 (449.3)	261	285
金時		9/1	茎長 (cm)	43.4 (52.3)	葉数 (枚)	4.1 (4.4)	着莢数 (個/m ²)	117.8 (154.0)	155	192
手亡		9/15	茎長 (cm)	55.5 (67.3)	葉数 (枚)	8.8 (8.0)	着莢数 (個/m ²)	166.7 (310.1)	177	217
てん菜		10/15	根周 (cm)	40.8 (39.4)	-	-	-	-	7,210 (17.3)	6,874 (16.4)
ながいも		10/15	いも長 (cm)	73.0 (75.6)	いも重 (g)	1087.0 (1169.6)	いも径 (cm)	6.5 (6.6)	3,392	3,578
牧草		1番草 6/15 2番草 8/15	1番草 草丈 (cm)	112.8 (105.7)	2番草 草丈 (cm)	94.9 (92.8)	-	-	4,484	4,599
サイレーシ用 とうもろこし		9/1	稈長 (cm)	268.5 (290.8)	葉数 (枚)	17.4 (17.2)	-	-	5,583	6,009

注1) 生育状況：帯広市農業施策推進委員会調べ。下段()は平年値

注2) 10a当たり収量における平年値：帯広市調べ。てん菜下段()は糖分

注3) 10a当たり収量における本年値：帯広市推計値

注4) 10a当たり収量：秋まき小麦はきたほなみ、ゆめちからを、馬鈴薯は食用、加工用、澱粉用、種子用を含む。